

土佐塩の道「庄谷相休憩所」が完成しました！

塩の道の拠点である庄谷相に休憩所が完成し、12月14日に落成式が開催されました。

この休憩所は、(一財)日本森林林業振興会助成金を活用したもので、2024年夏頃から本体工事を始め、倉庫・ひさしの追加工事を含め、2025年11月に完成しました。また工事にあたっては、設計施工、木材調達に至るまで、公文照さんを中心に、土佐塩の道保存会員、一般ボランティア、地元の大工さんたちが協力し、自らの手作りで完成させました。

2002年、当時60代だった保存会員の皆さんの手により、消えてしまったかつての往還道「塩の道」が復活しました。そこから23年、現在80代になった初代会員の皆さんが今回も先頭に立ち、塩の道を訪れるお客さんに、くつろげるスペースを提供するための新たなチャレンジを成功させました。

香美市物部町から香南市赤岡町までの約30kmの道を復活させて以降、迎え入れたお客さんは約8000人、コース維持のための会員による整備作業は約6000人役(ボランティアを除く)という数にのぼります。これまでは「美しい日本の歩きたくなるみち500選」「文化庁歴史の道100選」「香美市有形文化財」などに選定されており、最近では外部からの整備支援者も少しずつ増え、道を未来へ繋げる取組が着実に前進しています。



▲ 休憩所の整備に携わった土佐塩の道保存会の皆さん

土佐塩の道 整備体験 ※(公)高知県森と緑の会「こうち山の日推進事業費補助金」を活用した事業です。

1月17日に土佐塩の道の整備体験イベントが開催されました。

整備作業の前には、高知中部森林管理署の森下嘉晴さんによる講話(物部地域の自然環境や土佐塩の道について)や自己紹介・意見交換の時間があり、会場も温まってきたところで整備作業に取りかかりました。

参加者やスタッフ全員で山の神さまへの安全祈願も欠かさず行い、塩の道のルート上に溜まった土砂や石、枝葉を清掃しました。熊手やツルハシなどの道具を使い分けながら進むにつれ、でこぼこだった道もみるみる歩きやすくなりました。少しずつ作業に慣れ、軌道に乗ってきたところであっという間にタイムリミットを迎え、「もう終わり？」という参加者の声も聞かれました。

お昼ごはんは鹿肉のBBQや猪肉をふんだんに使った猪汁などのジビエ尽くしで、その後は、陸上自衛隊高知駐屯地の中村副連隊長から、日々の取組の紹介がありました。自然災害に備えた訓練では、塩の道も活用されているそうです。

最後には、土佐塩の道保存会の公文寛伸さんから「土佐塩の道を守り次世代へと継承する意義」や「物部から祖谷へと繋がっていた旧塩の道の再興」についてのお話があり、無事にイベントが終了しました。参加者から「また開催して欲しい！」というお声も多くいただくそうで、土佐塩の道保存会は「今後も整備の機会を設けていきたい」とのことです。



新型アンパンマンバス、出発進行！ 土佐山田駅で出発式を開催



▲ 新型「アンパンマン号」(左)と「ばいきんまん号」(右)



▲ 関係者によるテープカット



▲ 第二土佐山田幼稚園児の合唱

©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

1月29日に土佐山田駅バス乗り場で、ジェイ・オール四国バス株式会社によるアンパンマンバス(アンパンマン号)新型車両出発式が開催されました。この日は晴天に恵まれ、依光市長をはじめとする来賓の方々や関係者が見守る中で、13年ぶりに更新される新型車両の門出を祝いました。出発式では、来賓の方々などの挨拶やテープカットが行われたあと、第二土佐山田幼稚園の園児たちが元気いっぱいに「アンパンマンのマーチ」を合唱し、会場は温かい拍手に包まれました。

新型アンパンマンバスは、外観にアンパンマンのラッピングが施され、車内ではアンパンマンの声による案内放送が流れます。さらに、今回の出発式では、もう一台の同路線の車両「ばいきんまん号」も登場し、今回新たに車内で流れるばいきんまんの声によるアナウンスも披露され、来場者は大いに盛り上がりました。

式典後、園児たちはさっそく新しいアンパンマンバスに乗り、新しい車両に目を輝かせながら満面の笑顔を見せていました。この新型アンパンマンバスは、今後も土佐山田駅～美良布駅間で運行され、市民の皆さんだけでなく、観光で訪れる多くのお子さんやご家族に笑顔をお届けします。

日本橋三越本店ご一行が香美市を表敬訪問

1月7日に、日本を代表する老舗百貨店「日本橋三越本店」の店長・丸井良太さん、マネージャー・畔田隆弘さんが、香美市を表敬訪問しました。

同店は戦後、香美市出身の漫画家・やなせたかし先生が一時在籍し、日本の百貨店で初のオリジナル包装紙「華ひらく」の製作や売り場のポスターデザインなどを手掛けました。このご縁もあり、日本橋三越本店が昨年企画・開催した特別展「やなせたかしと三越～3頭のライオンとの出会い～」の展示品を、株式会社 三越伊勢丹様のご厚意により香美市へ無償で提供していただき、市内でも特別展(※)を開催しています。

表敬訪問では、丸井店長と畔田マネージャーが市長とともに、やなせ先生ゆかりの施設を見学しました。やなせ先生の足跡をたどりながら、道中の山や川などの自然も興味深くご覧になり、「やなせ先生の作品には、香美市の豊かな自然が大きな影響を与えていると思います」との感想もありました。

丸井店長は、やなせ先生がご存命の頃からのご縁を振り返りつつ、市長とともに「先生が結んだ、三越と香美市のつながりを大切にしていきたい」と語りました。

※ 特別展は3月7日から26日まで、香美市立図書館かみーるで開催しますので、ぜひお立ち寄りください。特別展の詳細については、右の二次元コードから香美市ホームページをご覧ください。



▲ やなせ先生にご挨拶をしました
(やなせたかし ぼおのき 公園)



▲ 香美市から感謝状を贈呈しました
(やなせたかし記念館)

©やなせたかし
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV